

映像コーパスを取り入れた「日本語の聴解と会話」授業の試み

―断り表現「いい」の教え方を例に―

大連理工大学 韓蘭靈

1. 実践研究の背景

筆者が教えている学習者はソフトウェア工学を第一専攻とし、日本語を副専攻として学習している。「総合日本語」と「日本語の聴解と会話」という二つのコースが設置され、授業内の 600 時間を一年次と二年次に集中した形で授業を受けている。このうち、「日本語の聴解と会話」（中国語名：日語聴説）は四学期に渡り、合計 120 コマ（一コマ 90 分）の授業を実施し、「聞く」と「話す」能力を養成するのが主で、コミュニケーション能力の育成を目標とし、JPT の 2 級を目指す。「標準日本語」、「みんなの日本語」、「毎日の聞き取り」を教材として組み合わせて使用している。日本語教育現場で「聞く」、「話す」能力を養成するための教材がいろいろと開発されており、ビデオ教材もよく使用されている。「より生活の状況に密着したコミュニケーションの実力を養う良策として、現実に行えるだけ即した物事や場面を間接的ながら体験できる手段であるビデオが、大いに期待されている。」岡崎（1993）。しかし、既存のビデオは日本語教育のために意図的に制作されたイメージが強く、出演者の演技や会話の様態も、現実の場面に比べ、いささか不自然感を否定することができない。

映画やドラマ、アニメなどの映像作品は文化や言語の真正性の高い学習リソースであり、言語のメッセージを理解するためには量的にも質的にも重要な働きをしているので、利用すべきだと言える（三隅など 2013、劉、韓 2014）。しかし、作品を一部始終に見るのに多大な労力、時間もかかるし、必要な断片を検索するのが困難なので、教師の負担にもなる。

一方、近年計量言語学の研究が盛んになるにつれ、コーパスが開発されてきた。コーパスとは、語彙索引など、言語研究のための資料を指し、特に、コンピューターを利用してデータベース化された大規模な言語資料のことをいい、テキストコーパス、マルチメディアコーパスなどに分類できる。そのうち、マルチメディアコーパスは映画・ドラマ・アニメ・テレビ番組など、いわゆる映像を盛り込んだコーパスである。筆者のチームでは 2012 年日本の映画・ドラマを 50 本盛り込んだ映像コーパス―JV Finder を構築した（以下では「映像コーパス」と呼ぶ）。現代の日本人の標準的な生活をモデルとしたホームドラマをはじめ、職場、探偵、キャンパスなど多ジャンルがあり、中、日言語の両方の字幕付きである。語彙に基づく検索が可能になっている。検索したい言葉を入力すれば、その言葉を含む断片（5 分以内のシーン）をオンラインで見ること、ダウンロードして見ること、言葉の使い方を、生きている日本語を動画で学習できる点、生の学習リソースを素早く入手できることで、日本語教師と学習者に大歓迎されている。

2. 実践研究の内容

ところで、「いい」は全く反対の意味を持ち、goo 辞書 (<http://dictionary.goo.ne.jp/>) で見ると、次のような意味と用法がある。

- 1) 「よい」に同じ。「器量が一・い」
- 2) 関係が良好である。特に、男女が相思相愛の仲である。「あの二人は一・い仲だ」
- 3) ㊦（反語的に用いて）見苦しい。みっともない。「一・い気になる」

④十分過ぎる。その必要がない。「酒はもうー・い」

⑤放っておいてかまわない。どうでもよい。「その件はもうー・い」

中国人学習者は「いい」を往々にして中国語の「好、可以」に当てはめて記憶することが多い。上の④⑤は「いい」が断り表現として使われることである。が、筆者が 270 時間学習履歴の学習者 49 名を対象に、アンケート調査を行ったところ、この使い方を知っている学習者はわずか 2 名だけの結果を得た。『「いい」という語そのものが、抽象度の高い、きわめて包括的な意味を有する上に、これが具体的な会話の中で使われるとなると、前後の関係（文脈）と話し手の心理が絡み合い、語のつながり（フレーズ、センテンス）全体として、その都度特定の意味を帯びる』（芳賀綏など 1996）。「いい」は中国人学習者にとって、習得しにくい言葉の一つだと考えても無理はないのである。が、蔡（2013）は、「いい」の断り表現としての使い方が日本人の日常生活では普通になっていると言う。この意味用法をマスターしなければ、コミュニケーション能力の妨げになる可能性がある。明示的に説明する方法もあるが、言語、音声、映像、文字など様々なモードの情報で構成されている映像作品を利用したほうが、意味理解を促進するうえでより有利かつ効果的と思われる。

以下、断り表現「いい」の教え方を例に、JV Finder を駆使した実践研究を行った。

3. 実践研究の方法

研究目的：映像コーパスに基づいた断片の取り入れ方は学習者に受け入れられるか。断り表現「いい」の意味・用法は、映像断片の利用によって、聴解力の向上につながるか。

実践の手順：

下記の流れで、実践研究を設計、実行した。

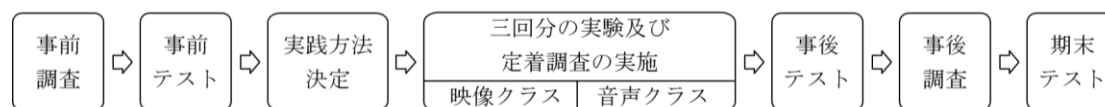


図 1：実践の流れ

そして、次のようなスケジュールで実践を進めた。

表 1：実践研究のスケジュール表

番号	日期	実践内容
	9 月	事前調査の実施（付録 3）
1	9 月	「いい」の意味用法を整理する。映像コーパスから断片を検索、収集する。「いい」が述語として使われる状況をコーパスから検索し、その中から 6 つの断片を選出し、実験の素材とする。
2	9 月	試験問題を選び、音声材料を編集し、事前テスト、事後テスト、期末テストの三回分の試験問題（内容が全く違う 18 問）を作成しておく。
3	9 月 30 日	事前テストの実施
4	10 月 9 日	断片 1 番と 2 番の実施。
5	10 月 13 日	断片 3 番と 4 番の実施。
6	10 月 16 日	断片 5 番と 6 番の実施。
7	10 月 21 日	事後テストの実施
8	12 月 29 日	期末テストの実施、事後調査（付録 4）の実施

データの取り方：

- (1) 学年：2014 年入学の学習者（2 年生）、初級から中級への程度
- (2) 科目：日本語の聴解と会話
- (3) 人数：49 人（映像クラス：24 人、音声クラス：25 人）
- (4) 実践時間：2015 年 10 月～12 月

事前テストの成績に基づき、映像クラスと音声クラスに分ける。授業は毎クラス毎週 2 回、学期で 32 回設けられた。そのうちの 7 回で、実践、テスト、調査を行った。

実験の素材を選択する時、人間関係が明瞭、話す人が 3 人以下、日本語として標準だと思われるもの、発音をはっきりしており、BGM が静かもしくははないこと、明らかに視覚的に頭や手を振るなどの非言語行動が入っていないこと、日本語表現がバラエティなどの要素を考えた上で、下記表 2 のものを抽出し、実験の材料とした。

表 2：実験の素材明細

映像番号	ドラマ名	会話の人数	人物関係	断片のセリフ	断片の長さ
1	家政婦	二人	家政婦と長女	A:お夕食はどうなさいますか？ B:いいです。食べて来たから。 A:では、希衣さんがおやすみになったら。失礼させていただきます。	17秒
2	家政婦	二人	家政婦と主人	A:三田さん今朝はいいです。会社で大事なプレゼンがあるから。早めに会社 行かなきゃいけないんで。 B:承知しました。	22秒
3	幸せになろうよ	三人	主人公、元彼女、親友	A:これからどうすんだよ？ B:ビジネスホテルにでも 泊まるから。 A:じゃあ、送ってくよ。 C:いいよ。帰るついでに俺が送ってくから。 B:ありがとう。	16秒
4	幸せになろうよ	二人	主人公の同僚、元彼女	A:呼びます？先輩。まだ仕事中ですけど。 B:いいの。迷惑になると悪いし。後で私から電話するから。	15秒
5	幸せになろうよ	二人	二人主人公（恋人）	A:仕事何時に終わるんですか？ 一緒にご飯食べに行きたいから。 B:はい。もうすぐ会社出られますね。近くの喫茶店で 待っててください。 A:分かりました。 B:これ、もういいです。	27秒
6	大切なことはすべて君が教えてくれた	二人	親しくない男女	A:救えたはずですよ。ゆかりさんは 意識もあったし搬送を急いでれば。手術で 助かったかも… B:忘れてください。もういいんです。 A:記憶は薄れない。だから4年もたってから 離婚したんじゃないんですか？ すいません。	32秒

実験のステップとして、まず素材の内容を統一しておいた。実施する三回の授業において、映像クラスでは、映像断片（mp4）を使用するが、音声クラスでは音声のみ（mp3）の使用になる。その他のステップはほぼ同様にした。

次に、授業が開始前の 5－10 分を利用し、映像クラスでは映像断片を見せ、音声クラスでは、映像なしの音声のみを聞かせた。見せたり、聞かせたりする前に、登場人物の関係を言っておく。その後、質問に答えてもらった。答えるのに難しそうな時、もう一度見せたり、聞かせたりした。被験者のニーズに応じ、繰り返すこともあった。4 回以上流しても分からない場合は、解説を加えた。中国語で説明するほうがわかりやすい場合もあるので、両言語を使っていた。そして「いい」の意味用法をまとめたり、まとめてもらったりした。最後に、授業が終了する 5 分前に、当日勉強した「いい」の意味用法への理解が定着したかどうかを調べるために、フィードバックの紙を書いてもらった。

実験中使用していた質問、つまり学習者に答えてもらった問題、下記の表 3 にまとめた。各素材についての解説は被験者の反応に応じて臨機応変したので、紙幅の関係で、詳細は省略する。

表 3：素材についての質問およびまとめ

映像番号	人物関係	問題	まとめ
1	家政婦と長女	1. 長女は晩御飯を食べますか。 2. どうしてですか。	当说者向听者发出邀请者为听者做某事，或征求对听者有益的事情的意见时，一般可以理解为拒绝或者否定。也有例外，要结合说话双方的语气，语调，表情，非言语行为进行判断。通常情况下，听到もういい时，基本表示否定回绝。在回绝的前后，通常会对回绝的理由进行说明，以让对方理解。
2	家政婦と主人	1. 家政婦は今何をしていますか。 2. 主人は食べますか。食べませんか。どうしてですか。	
3	主人公、元彼女、親友	1. 「いいよ」のイントネーションにきをつけてください。 2. 誰が女の人を送りますか。どうしてですか。	
4	主人公の同僚、元彼女	1. 同僚の女性は先輩を呼びますか。どうしてですか。	
5	二人主人公（恋人）	1. 「これ」は何を指しますか。 2. ここの「いい」はどういう意味ですか。	
6	親しくない男女	1. 何がもういいですか。 2. 男性が言いたいことは何ですか。	

三回分のテストは録音を聞いて、回答を選ぶような形の問題である。問題を聞いた後の感想を自由記述させる。三回の実験が終了後の一週間、事後テストを行った。「いい」の意味用法への定着がしたどうか、確認するために事後テストの約一か月後の期末に三回目のテストを実施した。テストの実施方法は同じである。

4. 結果と考察

事前調査では、「いい」に関する問題を聞いた時の感じとして、簡単だと答えた人は 80% いたが、実際聴解問題を聞いた後、戸惑うと答えた人のほうが大半だった。そして、実験が終わった時、「簡単そうに見える「いい」が、実は奥深い」と嘆いた学習者もいる。

実験ごとに定着状況の調査について、統計してみたところ、その都度勉強した内容は確実に定着したことがわかる。そして映像断片は意味用法を習得するのに役立ったかどうかについて聞いたところ、90%以上の学習者は役立ったと答えた。さらに、自由記述のところに音声クラスから「映像があれば、見せてもらいたい」と自らの要望もあった。

事後調査では、学習者による自由記述を設けた。それを日本語に翻訳し、プロトコルとして分析したところ、「語彙の記憶にとっても役立った；今よりも多くの断片を取り入れてほしい；言葉で説明しにくい文法要項や語彙の勉強は、やはり映像の断片を取り入れてほしい。今までのように、あまり授業の時間を取らない形がいい。授業開始前と休憩時間に短い断片を流すと、日本語の勉強に役立つし、リラックスもできる」というような声があった。また、「今後の日本語学習において、映像断片を使いたいか」との問いに対し、約 90%の学習者が使いたいと答えた。「断片と一部始終のドラマと、どちらがもっと日本語の勉強に役立つと思う？」との質問に対し、約 80%の学習者が「限られた時間内だったら、興味をそそることができる、针对性が高い断片のほうがいい」と答えた。調査法を使用し、映像断片の導入は大多数の学習者に受け入れられていることが明らかになった。

テストについて、問題数が六つで、満点が 6 点というように決めている。三回の結果は下記の通りになっている。

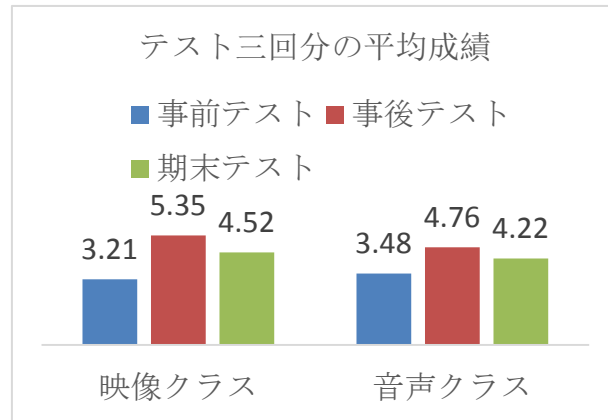


図 2：テスト三回分の平均成績

事前テストでは音声クラスの方が良かったにも関わらず、事後テストと期末テストでは映像クラスの方が点数が高かった。二回目のテストの成績は三回目より少し高いが、つまり問題の難易度から見ると、二回目は明らかに容易だった。これは筆者の設計上におけるミスがあったためであり、三回目のテストを受けた時、学習者の理解力が下がったと言いがたい。そして、t 検定を行い、成績の相関関係を分析したところ、映像クラスにおける一回目と三回目の $\text{Sig}(2\text{-tailed})=0.002$ で、有意差が見られ、映像による勉強の効果が実際にあったと理解してもいいだろう。さらに映像クラスの平均成績は音声クラスを上回ったことが確実である。音声＋教師による解説の上に、映像クラスの学習者は、視覚も動員され、映像断片が理解を促進するのに役立ったと解釈する。

5. まとめと今後の課題

日本語教育における映像作品の効用は先行研究ではもう明らかになった（岡崎 1993、三隅 2013, 2014）。しかし、映像断片の応用研究は見られなかったため、今回の研究対象を断片に決定した。使いたい映像の断片を集められたのは、映像コーパスのおかげだと言える。素早く日本語の意味と生の使い方を調べることができ、何度でも動画で繰り返して使えるのがコーパスのすばらしいところの一つである。今回は断り表現「いい」の教え方を例に、映像コーパスから抽出した断片を「聴解と会話」授業での使用を試みた。映像断片は授業活動の一部として使える、取り入れ方も学習者に受け入れられ、コミュニケーション能力の聴解力の向上につながる効果があることも確認できた。他の授業にも試用し、コミュニケーション能力の養成における映像コーパスの汎用性を模索すること、学習リソース映像断片を蓄積、副教材の開発を目指すのが今後の課題である。

参考文献：

1. 岡崎正道（1993）、「ドラマ・映画による日本語教育」、Artes liberales, 53 号
2. 三隅友子, 保坂敏子, 門脇薫, 「映像作品を利用した日本語教育の体系化に向けて」, 2012 年度徳島大学国際センター紀要, 47～59 頁, 2013 年
3. 三隅友子, 保坂敏子, 「映像作品を利用した構成主義に基づく授業デザイン」, 2013 年度徳島大学国際センター紀要, 1～10 頁, 2014 年
4. 刘玉琴, 韩兰灵, 「影视作品在跨文化交际能力培养中的应用」, 『东北亚外语研究』, 2014. 03
5. 蔡妍 (2013), 「いい」的消极表达用法与礼貌原则, 乐山师范学院学报, 65-68 页, 2013. 06
6. 芳賀綏, 佐々木瑞枝, 門倉正美, 『あいまい語辞典』東京堂出版、1996. 06